

関西防災・減災プラン感染症対策編の検討状況

H25.3.13 関西広域連合広域防災局

関西広域連合として広範かつ急速なまん延のおそれのある感染症への対策を強化するため、下記により関西防災・減災プランの感染症対策編の策定に着手している。

1 構成

(1) 対象とする感染症

新型インフルエンザ

鳥インフルエンザ・口蹄疫等の特定家畜伝染病

(理由) 人に感染するものに加え、人に感染するおそれは低いものの、伝染力が強く、甚大な経済被害の発生が懸念される家畜伝染病についても対象とする。

(2) 構成

対象とする感染症ごとに分野別対策編を策定する。

関西防災・減災プラン	新型インフルエンザ対策編
同	鳥インフルエンザ・口蹄疫等対策編

2 検討体制

(1) 専門部会の設置

関西広域防災計画策定委員会に「新型インフルエンザ対策」と「鳥インフルエンザ・口蹄疫等対策」の専門部会を設置。会議を各2~3回程度開催し、プラン案を取りまとめる。

新型インフルエンザ対策専門部会 委員

氏名	所属	分野
荒川 創一	神戸大学医学部感染制御部長	感染症医療
朝野 和典	大阪大学大学院医学系研究科感染制御学分野教授	感染症医療
室崎 益輝	関西学院大学総合政策学部教授	防災対策
八木 絵香	大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授	リスクコミュニケーション
山下 淳	関西学院大学法学部教授	行政法学
和田 行雄	京都府山城北保健所長	衛生行政
渡辺 志伸	兵庫県医師会理事	地域医療

鳥インフルエンザ・口蹄疫等対策専門部会 委員

氏名	所属	分野
大槻 公一	京都産業大学総合生命科学部教授	獣医微生物学
永長 浩樹	農林水産省動物検疫所神戸支所長	家畜衛生
永松 伸吾	関西大学大学院社会安全研究科准教授	経済被害対策/リスクコミュニケーション
西野 洋	京都府中丹家畜保健衛生所長	畜産行政
向本 雅郁	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授	獣医感染症学
室崎 益輝	関西学院大学総合政策学部教授	防災対策

(2) 事務局

広域防災局広域企画課が総括を担当し、災害対策課の協力を得つつ、兵庫県の所管課を中心にプラン案を作成する。

新型インフルエンザ対策 兵庫県 健康福祉部 疾病対策課
鳥インフルエンザ・口蹄疫等対策 . . . 兵庫県 農政環境部 畜産課

3 検討状況

(1) 新型インフルエンザ対策編

国の「新型インフルエンザ等対策有識者会議中間とりまとめ（H25.2.7）」が公表されたことから、この中間とりまとめに基づき、新型インフルエンザ対策において広域連合が担うべき役割を整理した上で、専門部会の第1回会議を開催予定（4～5月頃を予定）。

（想定される広域連合の役割）

- ・情報共有、早期通報体制の確立
- ・社会活動制限の実施に係る府県間調整
- ・関西全体を対象とした情報発信、風評被害対策

(2) 鳥インフルエンザ・口蹄疫等対策編

専門部会の第1回会議（H25.2.25）で鳥インフルエンザ・口蹄疫等対策編の素案（たたき台）について協議。鳥インフルエンザ・口蹄疫等対策において広域連合が担うべき役割について関係機関と調整を図った上で、第2回会議を開催予定（5月頃を予定）。

（想定される広域連合の役割）

- ・情報共有、早期通報体制の確立
- ・移動制限や消毒措置等の措置に迅速に対応するための農家情報等の共有化
- ・災害対応に必要な人員や資機材の融通（防疫措置以外）
- ・消費者等の間違った知識による畜産物の買い控え等の風評被害対策

（専門部会第1回会議の協議結果）

- ・広域連合と先行して設置されている「近畿ブロック等鳥インフルエンザ・口蹄疫等対策協議会」の関係整理が必要。
- ・広域連合の役割の明確化が必要。広域連合が関わることの意義をきちんと説明すること。また、近畿農政局が担う役割と、広域連合が担うべき役割の整理が必要。
- ・広域連合の役割としては、畜産部局が行う防疫措置以外の災害対応全般について、防災部局を中心に関係部局が連携して対応する体制を整備することが考えられるのではないかと。
- ・今後は、次回の会議を5月ごろ目途に開催できるよう、構成団体、近畿農政局と協議しながら、頂いた個々の意見の計画案への反映作業を進める。